

市民ネットワークちば

2015年4月
統一地方選挙に
向けて

誰もが安心して暮らせる社会を！

十二月の衆院選は、自公が議席の三分の二を獲得。千葉市の投票率は51.26%でした。何も変わらなかった、と悲観する向きもありましたが、議席数を見れば、自民や維新・次世代が減、民主や共産が増と、民意の方向性が変わっているのがわかります。
国とは地方自治体の集まりです。自治体が変われば、確実に日本は変わります。誰もが安心して暮らせる社会にするため、今こそ千葉市の政治を見直す時です。一九九〇年の発足以来、一貫して市民目線の政策提言をしてきた私たちの真価が問われる時と考え、襟を正して四月の統一地方選に臨みます。

共同代表 岩崎明子 山崎邦子



花見川区 鈴木 明子

いのちを大切にする社会を
子どもたちに



若葉区 岩崎 明子

人と人がつながり
住み続けたい千葉市をつくる



稲毛区 渡辺 忍

すべての人が自分らしく
暮らせるまちに



中央区 山崎 邦子

子どももおとなも
いきいきと過ごせるまちに

千葉市議会議員選挙 候補予定者



市民ネットワーク公式キャラクター
ネットりん



美浜区 松井 かよ子

暮らしの中から生まれた想いを
市政に反映させます

2011年～2014年

市民ネットワークが提案して 実現できたこと

- ▼ あんしんケアセンターの増設(12↓24カ所へ)
- ▼ 市役所内にチャレンジドオフィス(障がい者の就労の場)の開設
- ▼ 市内学校や公園、及び給食の放射能測定
- ▼ 防災会議に男女共同参画の視点を取り入れる部会を設置
- ▼ 子育て支援コンシェルジュの配置
- ▼ こどもの居場所(こどもカフェ)の設置
- ▼ 空き家の利用・活用対策の推進
- ▼ 化学物質(農薬等)の使用削減
- ▼ 議会による、議会改革の市民説明会の開催
- ▼ 生活保護世帯の学習支援の拡充
- ▼ 市債管理基金からの借り入れの抑制
- ▼ 自転車の走行空間整備
- ▼ 道路照明のリース方式のLED化
- ▼ 公共施設の屋根貸しなどによる太陽光発電の充実や太陽熱利用への補助
- ▼ スクールソーシャルワーカーの配置

私たちの政策

- ◆多様な働き方が認められる社会
 - ・女性も男性も仕事と家庭が両立できる社会づくり
 - ・働く人の権利を守る
- ◆人と地域資源を活かす暮らしやすいまち
 - ・幅広い視点で作上げる防災対策
 - ・街の資源としての空き家の活用をすすめる
- ◆このまちで安心して暮らし続ける
 - ・医療・介護・福祉の連携で地域包括ケアの実現
 - ・こども・若者・高齢者などが自由に集える居場所づくり
- ◆豊かな子育て子育てを応援
 - ・産前産後のサポートや多様な保育情報の提供で「孤育て」を防ぐ
 - ・社会的な養護が必要な子・親への支援の充実
- ◆未来につなぐ循環型のまち
 - ・再生可能エネルギーの拡大で脱原発社会を
 - ・農業の活性化で地産地消をすすめ、食の安全を守る
- ◆市民力を活かしてつくる私たちのまち
 - ・議会への市民参加で議会を変える
 - ・財政再建も市民とともに

市民ネットワーク の 3つのルール

① 議員はローテーション
市民ネットワークの議員は原則2期・最長3期で交代。職業化、特権化しません。議員終了後は、市民活動などに経験を活かします。

② 議員報酬は
市民の活動費
議員報酬は市民の調査活動資金に。お金の流れはすべて公開します。

③ 選挙はすべて
手づくりで
市民のための政治は、市民参加の選挙から。選挙は市民のキャンパとボランティアで行います。

大事な
ことは市民が
決める